



薬剤抵抗性害虫への
切り札!!



果樹でも
効果が一層安定!!



露地に適用拡大!!

捕食性天敵

農林水産省登録 第22304号

スワルスキー®

スワルスキーカブリダニ剤

捕食性天敵

農林水産省登録 第23005号

スワルスキー®
プラス UM

スワルスキーカブリダニ剤

IPMの基幹剤

ミカンハダニ幼虫を捕食



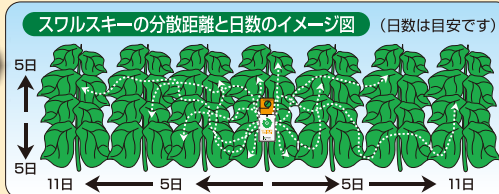
アザミウマ幼虫を捕食

新しくなったスワルスキープラスUMについて

パック内で守られている
スワルスキーカブリダニは

遮光・耐湿・
保湿性能が向上!

- 作物上の餌(花粉、害虫他)不足
- 施設内の湿度低下 ● 薬剤などの散布
- 摘葉・摘芯作業による天敵の施設外への持ち出し
などの影響を受けにくく、放出後に高い定着性を示します。



スワルスキープラスUMを栽培本数が多い作物で使用した場合、全ての株にカブリダニが分散するまで時間を要します。ピーマンやナス、キュウリなどの果菜類では、カブリダニを圃場全体に早期に行き渡らせるためにボトル製剤で全ての株に放飼することを推奨します。



複数の難防除害虫を同時に防除！

捕食性天敵

スワルスキー®

スワルスキーカブリダニ剤 25,000頭入(250ml)

ボトルタイプ

成分：スワルスキーカブリダニ……1000頭/10ml、サトウダニ、ふすま等
性状：淡褐色粒

捕食性天敵

スワルスキー®プラス UM

スワルスキーカブリダニ剤 100パック入(25,000頭入)

吊り下げパックタイプ

成分：スワルスキーカブリダニ……250頭/パック、サトウダニ、ふすま等
性状：淡褐色粒

特長

複数の害虫を同時に防除！

植物上での高い定着性！
[花粉や微小生物を餌にして増殖します。]

害虫の発生前から予防的に使用が可能

暑さに強く、比較的高温の環境でも生存可能

■適用害虫と使用方法

2019年3月現在の登録

作物名		適用病害虫名	スワルスキー(ボトル)使用量	スワルスキープラスUM(パック)使用量	使用時期	使用方法
露地栽培	野菜類	アザミウマ類	250～500ml/10a (約25000～50000頭)	100～200パック/10a (約25000～50000頭)	発生直前～発生初期	放飼 露地で使用する場合には、スワルスキーカブリダニの越冬を防ぐため、放飼後の厳冬の月平均気温が10℃を下回る地域で使用すること。
	豆類(種実)					
	いも類					
なす	チャノホコリダニ	250ml/10a (約25000頭)				
施設栽培	野菜類	アザミウマ類 コナジラミ類 チャノホコリダニ	250～500ml/10a (約25000～50000頭)	100～200パック/10a (約25000～50000頭)		
	豆類(種実)					
	いも類					
	果樹類	ミカンハダニ	2.5～10ml/樹 (約250～1000頭)	1～4パック/樹 (約250～1000頭)		
	マンゴー	チャノキイロアザミウマ	2.5ml/樹 (約250頭)			
花き類・観葉植物	アザミウマ類	500ml/10a (約50000頭)	200パック/10a (約50000頭)			

※本剤の使用回数およびスワルスキーカブリダニを含む農業の総使用回数の制限はありません。

成功のポイント

1. 合成ピレスロイド、有機リン、カーバメート系殺虫剤は使用しない。

天敵導入前(育苗期含む)に左記の系統の殺虫剤を使用した場合、スワルスキーを放飼しないでください。

合成ピレスロイド
有機リン
カーバメート

2. 施設のサイドや天窓に防虫ネットを張る。

スワルスキーカブリダニの捕食対象は、アザミウマ類の若齢幼虫およびコナジラミ類の卵と若齢幼虫です。成虫は捕食できないため防虫ネット等で害虫の侵入を防いでください。施設内に侵入した害虫は、粘着トラップのホリバーを併用して、捕殺してください。



3. ホリバーを併用する。

4. ゼロ放飼を心がける。

導入前の害虫密度が高いと十分な防除効果が得られないのでスワルスキーを放飼する前にエマメクチン安息香酸塩乳剤などを散布して害虫の密度を極力ゼロにしてください。

5. 放飼後1～2週間は薬剤散布を控える。

スワルスキーがしっかり定着・増殖できるよう、放飼直後の薬剤散布(殺菌剤含む)はなるべく控えてください。

詳細は取扱店または弊社へお問合わせください。

注意

- スワルスキーカブリダニはトマトではうまく定着できないので、使用は控えてください。
- 低温下では活動が鈍るので、冬期の夜温管理温度が13℃以下になるような状態での使用は避けてください。
- スワルスキーカブリダニ放飼後に害虫密度が高くなった場合は、ボタニガード水和剤、マイコタール、または本剤に影響の少ない農薬(シアントラニプロール水和剤、ピリダリルフロアブル、ルフエヌロン乳剤など)を散布してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

アリスタライフサイエンス株式会社
〒104-6591 東京都中央区明石町8-1
TEL 03-3547-4415 FAX 03-3547-4695
<https://www.arystallifescience.jp/>